

各ワーキング (WG) の活動報告

1. 下野市精神障がい者地域支援 WG 5 3 (第 13 回)

【日 時】 令和 6 年 9 月 10 日 (火) 10:00～11:50

【場 所】 市庁舎 203 会議室

【参加者】 8 名 + 事務局 4 名

- ◆WADEWADE 訪問看護ステーション下野
- ◆小山富士見台病院 (+ 実習生)
- ◆小山地区精神保健福祉会
- ◆市社会福祉課
- ◆朝日病院
- ◆市障がい児者相談支援センター
- ◆栃木県障害者相談支援協働コーディネーター
- ◆精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業密着アドバイザー

第 7 期下野市障がい者福祉計画で、「精神障がい者の地域移行支援の利用 = 5 名」が目標になっていることをふまえ、WG としてもケース支援を実施していく方針。

今回の WG では、地域移行終結ケース現状報告・振り返りと、居住支援法人等が WG に参加することについての意見交換をした。

《意見まとめ》

【地域移行終結ケース現状報告・振り返り】

ケース① 被害的になることはあるが、概ね落ち着いている。生活介護への通所も安定。

ケース② まだ精神的に不安定なところはるが、周囲のサポートもあり GH 利用を継続中。

- ◆10 年前と比べ、退院に目を向ける看護師が多くなってきた。
- ◆一方で主治医の判断で急な退院もある為、地域移行にのせることが難しい場合もある。
- ◆次回以降、地域移行を利用した方の退院後の生活を担当看護師や医師へ報告し反応を確認する。

【WG に居住支援法人等が参加すること関しての意見交換】

- ◆アパート契約に関しての障壁を確認していく。
- ◆障がい者でもアパート契約できる物件は築 40 年くらいが多い。
- ◆不動産会社や大家さんが不安に感じているリスクを確認し、リスク対策を検討していきたい。
- ◆アパートのメンテナンスやリスクを考えると空き家のままで良いと思っている大家も多いのではないかと確認したい。

今後も地域移行支援を進めていく上で、居住問題は重要な為、居住支援法人と、どのような協力体制がとれるか引き続き検討していく予定。

2. 市内障がい福祉施設従事者研修会の実施について

【日 時】 管理者向け：令和6年7月30日（火）13：30～15：30

従事者向け：令和6年9月2日（月）13：30～15：30

【場 所】 市庁舎 303 会議室

【参加者】

◆管理者向け（3名）

- ・就労継続 B 型事業所
- ・地域活動支援センター
- ・児童養護施設

◆従事者向け（7名）

- ・就労継続 B 型事業所
- ・児童養護施設
- ・放課後等デイサービス
- ・相談支援事業所

◆アンケート結果から —抜粋—

- ・利用者の現状は、支援者側の理解度や支援の仕方などが影響してしまうということが理解できた。利用者がなぜ、その行動をするのか、行動の目的は何かなどを考えつつ、今後の支援に活かしたい。
- ・他の事業所の支援員さんたちと交流することで、自事業所でも取り組めることがあったので、取り入れたいと感じた。
- ・利用者さんの課題と思われることについて、その原因を多方面から考えられるようにしたい。
- ・自施設内だけで解決するのではなく、いろいろな資源を使って勉強していきたいと感じた。
- ・サビ管同士が集まる機会は、ほとんどない中、今回は貴重な研修だった。日々迷いながら、利用者を優先に考えてはいるが、職員への配慮もしなければならず、正直弱音がはけない立ち位置で苦しさもある。こういう機会がまた、あるとよい。